

河辺町 1～3 丁目地区における
グリーンスローモビリティの実証運行に関する
地元自治会との協議結果
(議事要旨)

日時：令和 6 年 5 月 29 日 (水) 午後 7 時から午後 8 時まで

場所：河辺町南自治会館 会議室

出席者： 地域住民 17 名

青梅市 (河村、高橋、木村)、(株)アルメック (高尾、倉岡、今井)

説明事項：

1. 令和 6 年度グリーンスローモビリティ実証運行計画 (案)
2. 今後の予定

資料：

- ・次第
- ・令和 6 年度 グリーンスローモビリティの実証運行について (第 1 案)
- ・低速・小型 EV、身近な足に「グリスロ」都内で実証広がる／日経新聞 (令和 6 年 5 月 24 日朝刊) 切り抜き

(主な意見)：

(1) 河辺町 1 丁目～河辺市民センター間の停留所設置について

- ・坂の途中のマンション荷下ろし場は斜面にあり、宅配業者の駐車もあることから、停留所の場所としては無理である。
- ・坂を上がる手前に停留所が欲しい。
- ・マンションの駐車場は狭く、車が回しにくいと思われる。
- ・ドラッグセイムス青梅河辺 6 丁目店か、南白はけ公園に停留所があるとよい。

(2) 運行時間、スマホ、運行台数について

- ・いつも同じ時刻 (パターンダイヤ) にしてほしい。
- ・車両を複数台用意する場合、乗車できる人数を揃えた方がよい。
- ・配布した時刻表の文字が小さくて見づらい。拡大してほしい。
- ・高齢者はスマホの利用が難しい。
- ・スマホでグリスロの運行状況や満席の状況がわかるのは便利だった。一方、スマホがうまく使えない高齢者向けに、使い方などを周知することが必要だ。

(3) 運行経路、停留所等について

- ・買い物や通院などの目的で利用できることが重要だ。
- ・経路について、河辺駅より先に住友金属鉾山アリーナ青梅や下久保公園に停車した方が使いやすそうである。
- ・経路の設定では、地域の利用と市外からの利用、どちらを主眼に置くかが重要である。
- ・塀や柵に時刻などを掲示している停留所の場所について、わかりにくいところがあった。より見つけやすくして欲しい。

(4) その他

- ・片道 100 円の運賃について、運動目的の短距離利用の人や、市外の人が多く利用するかもしれない。
- ・採算性の視点から、市外の方の利用も想定に含めたほうがよい場合がある。
- ・充電設備について、電気代は誰が負担するか。仮に地元自治会が負担する場合、利用を地元自治会に限定せざるを得ないのではないだろうか。
- ・実証運行に関心のある人が多いので、自治会 OB、子供会、老人会などもっと広く周知してもらいたい。

以上